

東日本大震災に対する九州地方整備局の取り組み（第17報）
～宮城県東松島市大曲地区、石巻市釜谷地区における排水作業～
～岩手県大船渡市における湾内及び沖合の海面監視装置を設置～

平成23年4月28日 16:00現在

1. 概要

■九州地方整備局では、東日本大震災における災害対応のため、
・緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)、災害対策現地情報連絡員(リエゾン)等の職員
・災害対策用機械(排水ポンプ車、衛星通信車、待機支援車)
などを、発災直後の3月12日から数多く派遣し復旧作業及び災害支援を継続的に行っています。

○TEC-FORCE、リエゾン等職員の派遣 …… 延べ988人日
○災害対策用機械(排水ポンプ車、衛星通信車等)の派遣 … 延べ359台日

■九州地方整備局では、東北地方太平洋沖地震の津波により著しい浸水被害を受け行方不明者の捜索活動が困難となっていた、宮城県東松島市大曲(おおまがり)地区、宮城県石巻市釜谷(かまや)地区などにおける排水活動を行いました。
排水活動により、立ち入りが可能となった箇所においては、自衛隊や警察による捜索活動が実施されています。

○東松島市大曲地区での排水活動を指揮

- ・九州地方整備局が派遣したTEC-FORCE隊員は「排水指導班」として、当地区の指揮権を東北地方整備局から一任され、排水計画の立案や関係機関・施工業者等の調整及び現地作業の監督など、排水活動全般にかかる指揮を行いました。
- ・当地区における排水作業は、3月29日より開始され、排水作業中の4月7日夜に震度6強の余震があり、現地の仮締切堤防が被災し海水が逆流するなどの困難にも見舞われましたが、4月14日にはおおむね完了し、現在も自衛隊や警察による行方不明者の捜索が行われています。
- ・排水活動の指揮を整備局が行うことにより、各関係機関、支援業者等が連携して排水活動を行うことが可能となり、東松島市長や自衛隊など各方面からお礼の言葉を頂きました。

○石巻市釜谷地区での排水活動に参加

- ・石巻市釜谷(かまや)地区には、九州地方整備局から整備局職員延べ20人日と共に排水ポンプ車6台を派遣し、4月6日より排水作業を開始、4月15日にはおおむね完了しました。

■岩手県大船渡市における湾内及び沖合の海面監視装置を設置

- ・岩手県大船渡市では、東北太平洋沖地震により、GPS波浪計、潮位観測機器などの既存の観測機器が破損したため、大きな余震が続いているにもかかわらず、海面の状況を観測できない状況でした。
- ・大船渡市からの要請を受け、九州地方整備局及び中部地方整備局のTEC-FORCEやリエゾンの技術的支援により、4月15日から大船渡湾内及び沖合の海面観測が可能となりました。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 災害対策本部
企画部 企画課 課長補佐 大波多(おおはた)
電話：092-414-7301(本部直通)
FAX：092-481-9210(本部直通)

宮城県東松島市大曲地区における排水活動状況

「排水指導班」排水活動における総合マネジメントを実施！

- ・津波による著しい浸水被害を受け、行方不明者の捜索活動が困難な状況の中、「排水指導班」は、宮城県東松島市大曲地区における排水活動の指揮権を東北地方整備局より一任され、排水計画の立案及び関係機関・施工業者等の調整、現地排水作業の監督などの総指揮を行い、現地での排水活動に取り組みました。
- ・阿部秀保 東松島市長や自衛隊など各方面より、本地区における「排水指導班」の活動に対し感謝の言葉を頂きました。

○活動の概要

場 所：宮城県東松島市大曲地区

期 間：平成23年3月28日～4月14日

派遣人員：TEC-FORCE隊員「排水指導班」
延べ52人

整備局の主な活動内容

- ・大曲地区の排水計画の立案
- ・東北地方整備局及び現地派遣の各地方整備局、宮城県、東松島市、施工業者等との排水作業に係る調整
- ・排水ポンプ車による排水作業及び、排水作業を円滑に行うための締切り工事に係る現場監督
- ・自衛隊等への排水状況の情報提供



排水前



排水後



「排水指導班」が作成した大曲地区の排水計画



排水完了箇所での自衛隊による捜索活動

現地で活動した「排水指導班」班長のコメント

■第1陣 班長 長崎河川国道事務所 若松副所長

- ・この地区の作業指揮を九地整が統括して行えたため、市は、作業目的を要望すればよい状態としたことが非常に良かった。
- ・現地では、自治体、各地整や地整の契約業者等の取りまとめや、連携が大変であったが、国が行うことにより、円滑な連携が可能となり、現場を統括できたと感じる。

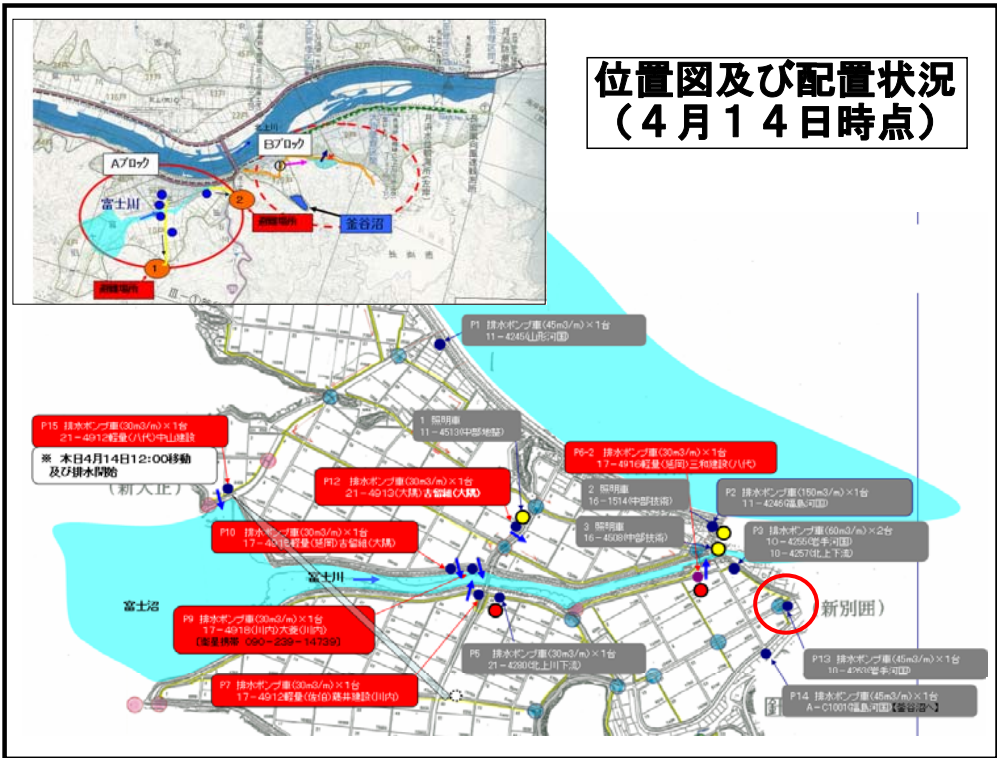
■第2陣 班長 大分河川国道事務所 安部副所長

- ・排水作業は、亡くなられた方の捜索を最優先として実施し、各整備局（東北、北陸、近畿、中部の各排水ポンプ車14台、北陸の燃料補給を行う業者、東北のメンテナンスを行う業者）や仮締切りを行う宮城県発注業者、排水活動をスムーズにさせるための東北北上下流事務所発注の維持管理業者、仮設トイレ等の環境整備をして頂く東松島市発注業者などが一つの目的に向かって一丸となって作業を行った。
- ・排水場所が元々水田であるため畦や小道があり、排水活動の障害となった。排水を効率的に行うため畦や小道に溝を切る作業の必要が生じたが、行方不明者がいる可能性があるため大型重機が使用できず、人力での施工となり時間を要することとなった。
- ・現場は海岸線のすぐ近くにあり、また、余震が多く発生するため、常時ラジオをつけ作業を行うとともに、いざというときの避難ルートの確認、避難場所の確認を行った。
- ・排水作業に従事されている方は、一日でも一時間でも早い排水を行うため24時間昼夜を問わず排水作業に従事して頂いた。

■第3陣 班長 川内川河川事務所 坂本副所長

- ・いつ「大津波」が襲ってくるか分からない状況下での排水作業であり、現場には緊急地震速報やラジオ等で「津波」に対する情報を常に入手させ、地震発生時には迅速に避難するよう日々作業員の方等への声かけに努めた。派遣期間中に、6回もの緊急地震速報が出され、その都度、避難確認を行った。
- ・4月7日の余震（深度6強）により、現地の仮締切が被災したことで、予定の排水作業に遅れが生じた。余震による仮締切からの漏水等の影響により、当初予定していた排水ポンプ車の配置計画を見直すこととなったが、各地整備機班の協力により円滑に組み変えが完了した。
- ・このような中、自衛隊による一次操作が4月15日まで（2次捜索が4月16日から）という情報が入ったが、何とか4月14日までに全てのブロックで水位低下操作が完了できた。自衛隊の方々からも「こんなに早く排水できるとは思わなかった。捜索に協力頂き感謝します。」との言葉を頂き作業の励みになった。
- ・任務を完了し、支援要請を受けた東松島市の建設部長に任務完了の報告をした際、握手をして頂き感謝の言葉を頂いた。非常に嬉しかった。また、その際に、「これで、安全なところに帰れて良かったですね。」と言われた言葉が非常に重く、心に残った。

宮城県石巻市釜谷地区における排水作業状況



○九州地方整備局排水作業の概要
 場所：宮城県石巻市釜谷地区
 台数：排水ポンプ車(30m³/min)×6台
 (佐伯1台・延岡2台・川内川1台・八代1台・大隅1台)
 排水期間：平成23年4月6日～4月15日(10日間)

○排水対応状況
 各地整の排水ポンプ車、全15台にて北上川下流の冠水地域の排水作業を24時間体制で行いました。
 九州からは5社、延べ240人日の作業員とTEC-FORCE機械班延べ20人日で排水作業を行いました。



